

ささえる

宇陀市立病院広報誌
SASAERU

Vol.
06

2020
summer

夏

優しさ、思いやり、温もりの心で
患者様に寄り添う医療現場に。



contents

- 01 特集コーナー コロナウイルス特集
- 04 9月開催！ 腎臓病教室
- 05 連載コーナー 地域連携課 / 部門紹介 ヤマザキショップ
- 06 新任医師紹介

宇陀市立病院
UDA CITY HOSPITAL

特集
コーナー

新型コロナウイルス感染症第1波を終えて
当院での対応、時系列で振り返る



宇陀市立病院感染対策委員長
中辻 直之

られず、万全な感染防止対策が取れない構造でした。そのような状況下で当院がコロナ患者を受け入れると院内感染の発生が危惧されました。院内感染が起こると外来・入院などの病院機能が停止し、ひいては宇陀市の地域医療体制の崩壊につながりかねないと判断し、やむを得ず当面はコロナ患者は感染症指定医療機関に任せ、当院では感染医療機関から溢れた一般患者を引き受ける立場をとりました。

早速1月末に当院の感染対策委員会で新型コロナウイルス感染症患者対応チャートを作成しました。疑い患者には完全防護具で臨みました。

2月に入り、国内で初の死者が発生し、国内感染者は100人を超え、瞬く間に大都市を中心に日本が赤く染まっていきました。全職員にマスクを含め防護具の着脱、アルコールによる手洗いの方法について緊急研修会を持ち、また、各部署へは環境表面の徹底した消毒を傳達しました。

2月末には小中高校に臨時休業要請が出されましたが、人と人の移動は制限できず、クラスター(集団)発生や院内感染による医療崩壊も始まり、従来の中途半端な感染予防対策では防御し得ないことが分かってきました。院内では、感染者とそれ以外の人が接しないように動線を分けることにも神経を使いました。

3月半ば、自責の念に駆られながらもコロナウイルスを当院に入れられないために、入院患者さんの癒しの1つである面会を制限する措置を開始しました。

3月末には全国的に防護具が枯渇し、当院でもマスクの在庫が20日しかもたない状況となり、本来使い捨てを前提として製造され1日2~3枚使用していたマスクを1日1枚に制限せざるを得なくなりました。追い討ちをかけるようにガウンまで底をつきはじめ、今後の対応に当惑していた矢先、企業や個人の方からマスクや雨合羽などの温かいご寄贈をいただきました。そのご厚意は、日々不安とストレスで憔悴していた私たち医療従事者の心の支えとなりました。やがて、消毒液の納入も不安定となり当院薬剤科での自家調整も開始しました。

◆第2波への備え、盤石なものに

誰がコロナを保有しているのかわからない状況下で、コロナを院内に入れられないために、4月初めから病院玄関で来院者全員の検温を始めましたが、まだまだ寒冷の早朝より来院者の検温を続けていただいた職員には頭が下がる思いでした。来院者・職員の手指消毒、マスク着用を徹底し、また職員の健康管理、3密を避けるため院内研修会の自粛、昼食時においても対面は避けることなども呼びかけました。

4月5日には国内感染者が3271名と1カ月で約20倍に激増し、そのうえ、感染経路が明確でない感染例が次々と報告されコロナ終息の目処は全くつかず、一般の医療機関においても感染者が発生する段階に入りました。奈良県においても、近隣(大阪、京

◆未知のウイルスとの戦い

未知の感染症を初めて目にしたのは昨年末、『中国武漢で原因不明の肺炎発生』の小さな記事を、私は全く対岸の火事として捉えていませんでした。今年1月16日、そのウイルスは人体に潜み、武漢から海路や航路を通じて日本にやって来ました。しかし、この頃はまだ特大大きな関心を寄せることもなく、やがて全世界を巻き込む惨事になることを、私は予想だにしませんでした。

1月28日突如、武漢への渡航歴のない感染者が桜井市に現れ局面は大きく変わりました。その日深夜に、病院長や奈良医大感染症センター医師とウイルスの情報がほとんどない状況下において、今後の対応につき電話で話し合った時の不安と焦燥感は今でも忘れません。

「新型コロナウイルス」と命名された未知のウイルスへの対策は、感染症専門医ですら分からない状況でした。僅な情報だけを頼りに、患者を、地域住民を、そして職員をコロナから守るため、29日早朝より感染対策会議を幾度となく開きました。当院は感染症専門医が不在であり、さらに感染症対策に特化した施設ではないため、一般患者とコロナ患者との接触は避け



隔離室で採取したPCR検体を渡す
看護師(防護服は寄贈いただいた雨合羽を着用)



都)の感染者の増加に伴い4月には20数名に増え、当院でもいつ患者や職員に感染者が発生してもおかしくない状況となりました。

当院で1例でも発生すれば、その直後から濃厚接触者とされた医療スタッフが2週間の自宅待機を余儀なくされ、当院への派遣医師の停止などで、外来・入院・手術などの病院機能が停止してしまいます。さらに、「スタッフの感染対策は万全だったのか?」「感染伝播に関わったスタッフへの非難中傷」などマスコミは風評被害を引き連れて押し寄せてきます。

全職員に院内にコロナを『持ち込まない』、『持ち込ませない』ための感染防止対策の徹底事項を通達しました。

4月16日ついに政府は緊急事態宣言を発令しました。

逼迫した状況下で、目に見えない未知の敵を相手に、戦う武器など何も無く、あるのは身を守る防護具だけ。細心の注意を払っても自らが感染する不安感、それ以上に、患者や職員や家族に移してしまわないかの恐怖心。私を含め全職員はこれまで経験したことのない恐怖を抱きながら、ただ、医療者としての使命感と矜持、そして献身的な信念だけで立ち向かいました。

中には濃厚接触が疑われ家族との接触をさけるため、仕事後も自宅に帰れずホテルに泊まる看護師もいました。また、医療従事者も患者もマスク着用で、患者の表情から心境を読み取ることも出来ず、笑顔で元気と信頼感を与えることも難しく、患者とのコミュニケーションを図ることが出来なくなりました。マスクやゴーグルで身をかためながらの非日常的診療を余儀なくされた状況では患者に心から寄り添えないと、唇を噛み涙する看護師もいました。

4月18日、入院患者のご家族がコロナと判明したことで、入院患者は濃厚接触者となりました。患者の診療にあたった多数の職員がいることが判り、その濃厚接触者の洗い出し作業は深夜まで及びました。翌日、患者のPCRが陰性と分かり安堵しましたが、あれほど驚愕と動揺が広がった一日はありませんでした。

4月末には、更なるコロナ患者の激増で感染症指定医療機関でのコロナ患者を受け入れる病床が不足し、当院でもコロナ軽症患者や疑い患者を受け入れる対策にも着手することになりましたが、幸いにも5月に入り新規感染者数は減少し、当院でのコロナ受け入れは実施することはありませんでした。

5月25日に全国で緊急事態宣言が解除され、一部の地域を除き日本にとっての新型コロナ第1波が収束したことを受け、面会時間を一部緩和し、7月より職員のマスクは1日2枚までとしました。

コロナが収束した要因はウイルスが消滅した訳ではなく、私たちが免疫を獲得した訳でもなく、緊急事態宣言により人と人との接触がなくなったこと。また、各自が手洗い・マスク着用などの感染対策を励行してきたためと思われました。したがって、解除後による人の移動で第2波が来るリスクは十分考えられました。実際、奈良県では6月に新規感染者の発生はありませんでしたが、7月に入り数名の感染者が発生し、早くも東京を中心に第2波の到来の懸念が高まっています。

感染対策は目に見えないウイルスを相手に時々刻々に対策を立て、全職員で共有し全職員で実行しなければなりません。当院では現在も感染対策委員会を中心に第2波への備えを盤石なものにしていきたいと考えています。

◆第1波を振り返り、当院の全職員の皆さまへ。

終わりが見えない、いつまで頑張ればいいのか分らず、自分が感染するリスクを抱え不安で疲弊していく職員。自分が罹れば次は自分が感染源となり、一般患者さんや職員、そして守るべき家族にも移してしまうかもしれない恐怖とストレス。われわれ医療従事者が志したのはただ一つ患者さんを救うためだったはず。そのために身に付けてきた知識は何の役にも立たず、後手後手になり戦い方すら分らず、錯綜する思いを抱えながらも、マスクや防護具が不足するなか、汗まみれになりながら献身的に頑張ってくれた職員に心から敬意と感謝をささげます。

最後になりましたがこの紙面をお借りして、経済状況も深刻化するなかで、複数の企業や個人の皆さまからの善意によりマスク3000枚、ガウン100枚、ゴーグル120枚、キャップ1000個、雨合羽1000枚の心温まるご寄贈をいただきました。いただいた物資は新型コロナウイルス感染症における診療と院内感染予防に大切に活用させていただきます。ご寄贈をいただきました皆さまには心から感謝の意を表します。



一部緩和されたものの、今もお設けている面会時間の制限



病院玄関で行われている来院患者の検温と問診



Check Point

療養者宿泊施設にて業務

奈良県が新型コロナウイルス対策における医療体制充実のため実施した、ホテル「東横INN奈良新大宮駅前」(奈良市)での宿泊療養。この療養者宿泊施設において業務する看護師を県は県内の病院に依頼をかけ、宇陀市立病院からは高谷和子看護副部長が立候補し現地へ。その当時の様子を話していただきました。

4月25日から5月8日まで、東横INN奈良新大宮駅前にて業務を行い、その後5月22日までは県が用意した別のホテルにて、万が一コロナに感染した場合に備えて滞在し、健康チェックなどを行いました。

具体的な業務は、電話での宿泊療養者の健康管理や宿泊療養者の健康面での相談などへの対応、PCR検査の介助、衛生資材の在庫管理や確保です。われわれの日程のメンバーはAチーム(8人体制)として、日勤や夜勤のスケジュールの中、業務を行いました。

また、業務開始前にマニュアルを渡されてはいたものの、初の試みでもあるため簡易なものだったので、一緒に働くメンバーで意見を出し合い、業務と同時並行でマニュアルやデータベースなど、現場で業務を行っているからこそ分かる部分を捕捉し、第2派など次に備えた動きも行いました。

2週間の業務を通じ、無事に終わったという気持ちも出ましたが、何より心残りが残るのが正直な気持ちです。感染防止のため仕方ないとはいえ、すべて電話での対応のため、宿泊者の顔を見てお話しすることもできず、寄り添った看護が果たしてできたのか。宿泊者にとって、滞在中は部屋の中からではできず、仕切られた世界にずっといることでストレスも多く感じたはず。当院の理念でもあり、普段から心がけている「宿泊している人の立場に立った看護」を、限られた電話での対応の中にもっと盛り込むことができたかもしれないと振り返って感じました。こうした思いをこれからの仕事に生かすだけでなく、今後、療養者宿泊施設にて業務を行う人たちやコロナ感染者と関わる医療現場の人たちにも、限られた手段の中でも寄り添った医療・看護を行ってもらえればと思います。



宇陀市立病院の対応について

お問合せ 宇陀市立病院 0745-82-0381

◆発熱等の風邪症状がある方

- ① 流行地への渡航歴や滞在歴のある方と濃厚接触された方
- ② 職場の旅行先等の状況で、新型コロナウイルスの感染の不安がある方
- ③ 軽い風邪の症状が4日以上続いている方
- ④ 重症化リスクのある方(高齢者や糖尿病、心不全、呼吸器疾患、免疫抑制剤、抗がん剤使用等)や妊娠中の方はすぐに
- ⑤ 高熱や強いだるさ、息苦しさがある場合はすぐに

帰国者・接触者相談センターへ電話してください。

0742-27-1132

◆上記以外の症状の方

来院前に必ず、掛かり付け医院、または宇陀市立病院(0745-82-0381)へ電話連絡し、各医院・病院の指示に従ってください。

電話なしでの直接来院はしないでください。

◆来院される方へのお知らせ①

院内感染予防のため、開院時間は、下記の通りとさせていただきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

開院時間 午前7:30～午後6:00
(診療受付は午前8:00～午後11:00まで)

◆来院される方へのお知らせ②

院内感染予防のため、午前7:30に開院させていただきます。病院入り口で来院される方への体温チェックをさせていただきます。発熱がある方は、問診の上、別の入り口から入っていただくようご案内させていただきますので、ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

◆面会について

面会の方へ:院内感染予防のため、面会時間は午後1時から午後5時までとさせていただきます。ご家族の方1名のみ面会とさせていただきます。ただし、下記の場合においては感染防止対策(マスクを着用・手洗い・手指消毒)を実施の上、必要最小限の面会をお願いいたします。

- ・重症、急変等で医師・看護師から来院要請があった場合
- ・入退院、転院で付き添いが必要な方
- ・その他、医師が必要と判断した場合

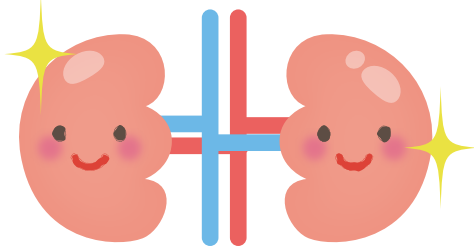
◆外来診療について

外来診療の方へ:宇陀市立病院の外来診療は通常通り行いますが、国より示されました感染症対策に伴い、一部の当日検査枠を縮小させていただく場合がございます。ただし、緊急検査は可能ですのでご安心ください。ご理解ご協力の程、よろしくお願いいたします。

9月開催！ 腎臓病教室

腎臓とは

腎臓は背中の中腰あたり、左右に1つずつあり、ソラマメに似た形をしています。腎臓の中には「糸球体」と言われる毛細血管のかたまりが詰まっています。



～腎臓の5つの役割～

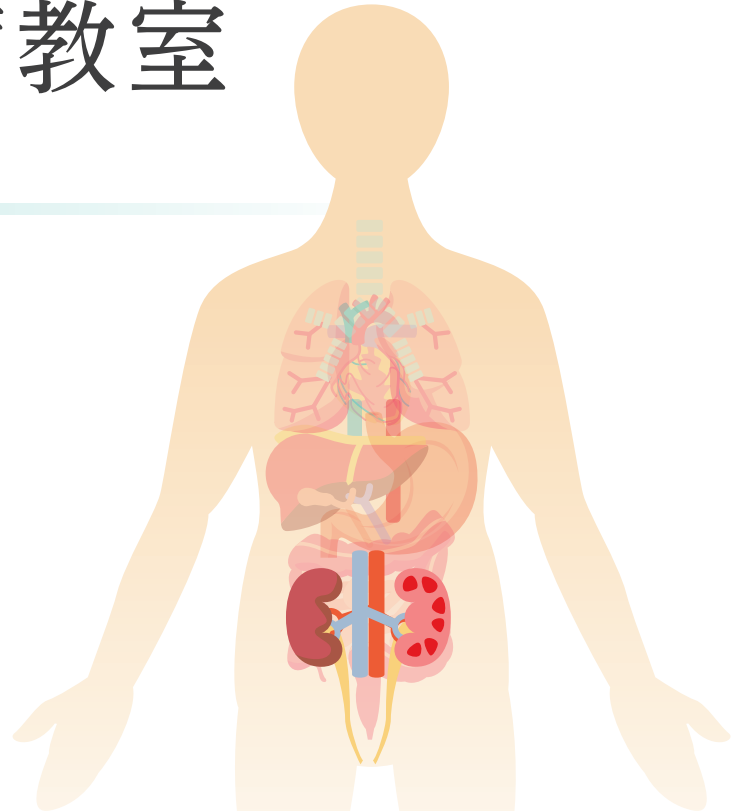
尿を作って、体から老廃物を排出する

血圧を調節する

体内の水分量を調整する

血液を作る手助けをする

骨を強くする



体内バランスを整える司令塔

腎臓は、老廃物を排出し、体内のバランスを整える重要な臓器です。血圧を調節するホルモンや造血ホルモンを産出するなど血液への働きも大きく、さらに、ビタミンD₃の活性化するといった骨代謝にも関わっています。

腎臓病教室をご利用ください！

慢性腎臓病(CKD; Chronic kidney disease)は、医療が進んだ現代でも食事療法を中心とした生活習慣の管理が最も大切です。早期から食事療法に取り組めば、腎機能が悪化をかなり遅らせる(生涯血液透析にならない)ことが可能です。

宇陀市立病院の慢性腎臓病(CKD)外来では、蓄尿検査(24時間おしっこを袋にためる検査を自宅でしていただきます)により、何が腎機能を悪くしているかを診断し、腎臓内科医師、腎不全専任看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師とともに、腎機能を悪くしないためにはどうしたら良いかを勉強していただきます。

皆さんも慢性腎臓病(CKD)について、私たちと一緒に勉強してみませんか。



こんな症状の方は ご相談ください

- 尿が泡立つ/色が違う
- 体のむくみ
- 貧血
- 疲れやすい
- 夜間頻尿

	1回目	2回目	3回目	4回目
開催日	2020年9月14日	2020年12月14日	2021年3月15日	2021年4月14日
15時～15時30分	丸山医師	丸山医師	丸山医師	丸山医師
テーマ 講義内容	慢性腎臓病とは	24時間蓄尿 について	正しいカリウム 制限をしよう	慢性腎臓病患者さんの 旅行時の心得
15時30分～16時	高谷透析看護 認定看護師	萩原 薬剤師	木下 検査技師	藤井 管理栄養士
テーマ 講義内容	透析とは	慢性腎臓病に おけるお薬 について	慢性腎臓病に おける検査 について	慢性腎臓病に おける食事療法 について

連載コーナー

地域連携課 vol. 6



お問い合わせ先：地域連携課
Tel.0745-85-1201(直通)

皆さんの
お困りごと、
ご相談の
窓口です。

やっぱり家がいい



そのお気持ちを大切にします

病気や怪我を治す「自己治癒力」は住み慣れた環境と自分らしい生活の中で最大限に発揮されることをご存知ですか。

当院では、奈良県医科大学総合医療学教室から医師派遣を受け、令和元年10月から地域医療部の開設と共に訪問診療を開始しています。

訪問診療は、症状の軽重に関係なく、通院が困難な方であれば、医師が叔父宅まで定期的に訪問し、体調管理を行う診療です。

「病院へ行くのが辛くなった」「住み慣れた自分の家で療養し

たい」「自分らしく過ごしたい」そんな思いをお持ちの方や、ご家族の思いを大切に、ご希望に少しでも添えるように、地域連携課を中心として、医師会の先生方、地域の医療・介護・福祉・保健・行政に携わる皆様の密接に連携し、住み慣れたご自宅での生活をお手伝いします。

地域医療を担うチームの一員として地域住民の皆様にご安心いただける医療サービスをご提供させていただきます。

当院の訪問診療をご希望される方は、お気軽に地域連携課までご相談ください。

当院では、訪問診療を実施しております。

※通院が困難な方が対象になります。

※緊急時や急変時には、24時間365日いつでも対応できる診療体制をとっております。

ご希望の場合、お気軽に地域連携課までご相談ください。

地域連携課 TEL 0745-85-1201

診療科・部門紹介

宇陀市立病院 売店

ヤマザキショップ



今年4月9日に院内売店が「Yショップ宇陀市立病院店」としてリニューアルオープンしました。入院生活に必要なものがそろっているだけでなく、患者さまをはじめ、外来にこられた方やお見舞いに来られた方、病院で働く職員の方にとっても、便利に利用できるお店となっております。また、スイーツコーナーでは、パックケーキなどが充実しており、そのままお土産にも利用できます。是非、お立ち寄り下さい。



店休日 年中無休

場所 外来棟1階

営業時間 平日8:30~18:00、土日祝9:00~16:00

新任医師 interview インタビュー

内科
くぼ たくや
久保 卓也 医師



profile プロフィール

氏名 久保 卓也
血液型 AB型
趣味 読書

周囲との協調性大切に診療を

Q: 医師になろうとしたきっかけは何ですか？

A: 父が医師で、家に医学書があり、幼い頃から医学書に触れるうちに、医療に携わりたいと興味を持ちました。

Q: 宇陀市立病院の雰囲気はいかがですか？

A: 過ごしやすく、そして馴染みやすい雰囲気です。

Q: 医師として常に意識している事は何ですか？

A: “自分ひとりで突っ走らない”ことです。患者さんの中には、医師には話しづらいこともあるかもしれません。そういった声を正確に聞くためにも、周りの看護師や他の医師たちとの協調性を大切にしています。

Q: アピールポイントを教えてください。

A: 穏やかな性格なところ です。

内科
なかうえ じゅんこ
中上 純子 医師



profile プロフィール

氏名 中上 純子
血液型 O型
趣味 旅行

より良いQOLを保って欲しい

Q: 医師になろうとしたきっかけは何ですか？

A: 幼い頃、国際紛争に関するテレビを見たときに映っていた医療現場の人たちの様子を見て、自分も困っている人を助ける仕事をしたいなと思いました。

Q: 宇陀市立病院の雰囲気はいかがですか？

A: アットホームで、皆さん優しく、働きやすい環境です。

Q: 医師として常に意識している事は何ですか？

A: 患者さんが、より良いQOL(クオリティ・オブ・ライフ)を保つことができるように病気を診ていくことを心掛けています。

Q: アピールポイントを教えてください。

A: 話をしやすいところ です。

患者さんが元の生活に戻れるように

Q: 医師になろうとしたきっかけは何ですか？

A: 中学生の頃、人と直接関わる仕事、人の役に立つ仕事がしたいと思い、そう考える中で憧れたのが医師や医療に携わる仕事でした。

Q: 宇陀市立病院の雰囲気はいかがですか？

A: 元気な高齢者が多いなという印象です。そういったところから、地域医療の中核を担っているのだなと感じています。

Q: 医師として常に意識している事は何ですか？

A: 患者さんが元の生活に戻れるようにすることを心掛けています。高齢者の場合は特に、一回の入院でも、元の生活ではできていたことができなくなることもあります。治療やリハビリを通じて、本来できていたことをまたできるように、負担があれば解決できるようにしたいです。

Q: アピールポイントを教えてください。

A: どんな人とでもコミュニケーションが取れます。また、自分は急性期がメインですが、慢性期まで幅広く診れるように勉強しています。

内科
まつばやし かずま
松林 和磨 医師



profile プロフィール

氏名 松林 和磨
血液型 O型
趣味 野球、ゴルフ

外来診療日程表

初診受付及び予約外の診療受付は、午前8時から午前11時までとなっています。

休診日：日曜日及び土曜日、国民の祝日に関する法律に規定する休日、12月29日から翌年の1月3日まで

令和2年7月1日現在

診療科	曜日	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科 循環器内科 消化器内科	1診	久保	染瀬	染瀬	中上	福智
	2診	小林	松倉	丸山	丸山	松倉
	3診	松島	松島	松林	前川	前川
	4診	経堂		林	林	林
	初診	中村	阪本	中川	奥田	藤原
	午後	糖尿病教室 月曜日(指定日)午後2時30分～ 北館2階 栄養指導室 ペースメーカー外来 松倉(予約) 第2月曜日 午後2時～3時	腎臓外来 丸山(予約) 毎週 午後2時～3時 禁煙外来 松島(予約制) 午後2時～			
外科	午前	中辻	越智	中辻	中辻	中辻
婦人科	午前	休診	南洲	南洲	休診	南洲
	午後		更年期外来(予約制)	更年期外来(予約制)		南洲(予約)
整形外科	1診& 奈良肩 肘センター	水撮(予約)	【午前】 水撮(予約)	仲川(一部予約含)	水撮(一部予約含)	仲川(予約)
	2診			近藤(予約)	森本(予約)	上野(予約)
	3診	島岡(一部予約含)	上野(一部予約含)	島岡(予約) 第2、4水曜日	門野(予約)	井上(一部予約含)
	4診	森本(一部予約含)		倉田(一部予約含)	奥本(一部予約含)	今中(一部予約含)
	5診	今中(予約)	【骨粗鬆症 午後診】 仲川(予約)	藤井(一部予約含)	近藤(一部予約含)	梅垣(午前)
ペイン クリニック外来	整形外科 4診	休診	渡邊	休診	休診	休診
耳鼻 咽喉科		木村	休診	伊藤 第1、第3、第5水曜日	休診	金田
		補聴器外来 第2、第4月曜日 午前中(予約)		植田 第2、第4水曜日		
眼科	1診	安森	安森	安森(丸岡) 診察受付は午前10時30分まで	松浦10時まで 安森10時から 診察受付は午前10時30分まで	松浦 第1金曜日 安森(丸岡) 第2、3、4、5金曜日
皮膚科	午前	宮川	光井	休診	休診	山岡
脳神経内科	1診	拾尾	拾尾(新患・一部予約含)	山田	拾尾	拾尾
	1診特別外来	【午後】(予約制)	【午後】(予約制)		【午後】(予約制)	【午後】(予約制)
泌尿器科		夏目	夏目	夏目	夏目(新患のみ) 診察受付は午前10時00分まで	大西
小児科	午前&午後	岸本	矢田	岸本	岸本	岸本
	予防接種 午後1時～2時	予約制	予約制	予約制	発達相談外来 木曜日(予約制)午後1時～2時	予約制
麻酔科	午前	垣本	休診	休診	休診	休診
精神科	午前	休診	休診	休診	休診	盛本(院内紹介のみ)

- 整形外科に限り、当日の8時30分から10時までの間に、午後からの診察を電話予約することができます。ただし、予約人数には、限りがありますので、満員となった時点で、予約受付を終了します。
- 小児科の月曜日、火曜日、水曜日、金曜日の予防接種の診察、木曜日の発達相談外来の診察は共に午後1時～2時の完全予約制となります。午後診察は、午後2時から開始します。受付は午後1時から午後4時までです。診察な、小児科予約システムで予約することができます。
- 木曜日の泌尿器科の診察の受付は、午前10時までとなります。
- 水曜日と木曜日の眼科の診察の受付は午前10時30分までとなります。
- 腎透析については、内科外来で受け付けています。
- 注 表中において、例えば「第2月曜」とはその月の第2回目の月曜日、「第2・第4月曜」とはその月の第2回目・第4回目の月曜日をいいます。

宇陀市立病院

〒633-0298 奈良県宇陀市榛原萩原815番地
<https://www.city.uda.nara.jp/udacity-hp/>

Tel. 0745-82-0381